

■平成29年 新年のご挨拶 新年明けましておめでとうございます

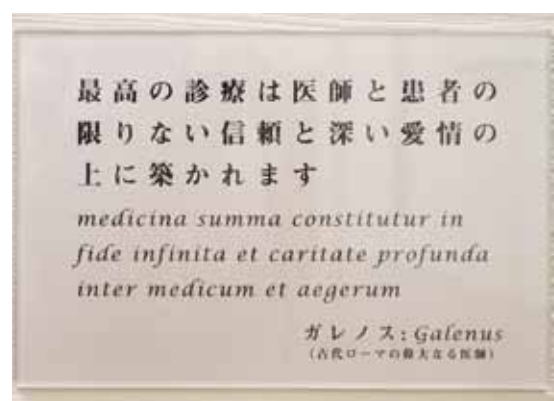


医療法人 千徳会
理事長 成川守彦

平成29年の輝かしい新年を皆様と共に恙なく迎えることが出来ましたのも、偏に皆様のご支援ご厚情の賜と、衷心より御礼を申し上げます。

桜ヶ丘病院のロビーに大きな陶板がかけられています。そこには、ローマ帝国時代のギリシアの医学者ガレノス(129-200年頃)の言葉が書かれています。

「最高の診療は 医師と患者の限らない“信頼”と深い“愛情”の上に築かれます」



ガレノスは、臨床医としての経験と多くの解剖によって体系的な医学を確立し、古代における医学の集大成をなし、彼の学説はその後ルネサンスまでの1500年以上にわたり、ヨーロッパの医学およびイスラームの医学において支配的なものとなりました。彼の医療書は総ての医療に関して500種類にのぼり、540の植物、180の動物、100の鉱物が記載され、ガレノスの生薬として有名であります。(現代から見れば、ガレノスの理論は部分的には正しく、部分的には誤りである。)

この言葉は、現在の医療にも通じる言葉、いや、現在だからこそ必要とされる言葉であると考え、昭和57年の桜ヶ丘病院開設時に、この陶板を作成し、職員一同の目標として掲げてきました。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



医療法人 千徳会
桜ヶ丘病院
院長 成川 暢彦

新年あけましておめでとうございます 謹んで年頭のご祝詞を申し上げます

昨年は、熊本地震や大型台風の上陸といった、大きな災害が起こりました。被災された皆様には、心からお見舞いを申し上げますとともに、被害に遭われた地域の皆様の1日も早い復興をお祈りしております。

本院も新築移転を行い、早1年半が経過しました。昨年は、外来診療科も、新たに脳神経外科・皮膚科・婦人科が増えました。また、5月には、地域住民の皆様との交流を図るイベントとして、さくら健康フェスタを開催いたしました。平成29年も引き続き、慢性期医療を中心に地域の皆様とともに明るく健康な未来を目指して取り組んでまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

医師紹介



婦人科医長
イマイ ヒデアキ
今井 秀彰 医師

〈プロフィール〉

昭和 60年 産業医科大学卒業
平成 元年 和歌山労災病院産婦人科勤務
21年 新宮市立医療センター産婦人科部長
22年 有田市立病院産婦人科部長
26年 紀南病院産婦人科部長
28年10月 桜ヶ丘病院婦人科医長 現在に至る

10月から勤務させていただいております今井です。
有田市とのかかわりは長く、桜ヶ丘病院で分娩を取り扱っていた時代から時々手伝わさせていただいており、2010年からは有田市立病院で3年半にわたり勤務していました。
今回桜ヶ丘病院で婦人科を担当することとなり、分娩や手術をすることまではできませんが、地域の皆様のお役に立てるように頑張っていくつもりですのでよろしくお願いたします。

婦人科外来 診察日 月・火・水・金

ソフト食の導入～経口摂取を続けるために～

当院栄養課では、誤嚥性肺炎の発症や入院で徐々に嚥下機能が低下した患者さんに対して、出来るだけ口から食べられるよう言語聴覚士、病棟スタッフと協力して支援を行っています。しかし、「嚥下状態に応じて今以上に細かく対応したい」という思いからソフト食導入に向けて取り組みを始めました。何度も試作を重ね、平成28年11月からは本格的に提供を開始することが出来ています。

今後もソフト食のメニュー増加などの取り組みを続けていきたいと思っております。



●第24回 日本慢性期医療学会 in 金沢(平成28年10月27日・28日)

演 題：嚥下食の充実に向けて～ソフト食導入への取り組み～

発表者：栄養課 管理栄養士 笹野馨代



●第21回和歌山県病院協会学術大会(平成28年11月6日 於:ホテルアバローム紀の国)

今年は当院より25名が参加し、一般演題1題の発表を行いました。

演題：「NSTの早期介入を目指して～ピックアップシートの導入を試みて～」
栄養サポートチーム(NST) 准看護師 谷口裕典

●第20回学術大会 最優秀賞表彰

演題：「透析患者が人生の最終段階まで自分らしく生きるために」
～エンディングノートから考える第一歩～

腎センター 看護師 中畑ひろ子



●職員表彰



■病院協会 優秀職員会長表彰
岩淵 えみ子 看護主任(勤続24年)

■病院協会 永年勤続者会長表彰
九鬼 葉月 理事長室室長(勤続21年)

■有田市医師会 優良職員表彰
三木 康平 臨床工学技士(勤続14年)
裕 成哉 看護師(勤続14年)
上野山 紀久子 看護師(勤続14年)